

共同発表：長崎県

平成 30 年 10 月 9 日

九州地方整備局

B I Mがもたらす建築生産プロセスの未来を語る

B I Mを導入して設計・施工した新長崎県庁にて記念フォーラムを開催します

建築生産プロセスを向上するツールとして、3次元で建物情報モデルを構築するB I Mが、いま大きく注目されています。

11月5日(月)にB I Mを導入して設計・施工した新長崎県庁にて、公共建築の日・公共建築月間イベントの記念フォーラムを開催します。

このフォーラムでは、新長崎県庁のBIM導入例を説明するとともに、B I Mを用いて協同作業するためのチームづくりや教育、ワークフローの見直しなどについて紹介し、未来の建築生産プロセスをパネルディスカッションで語り合います。

記念フォーラム「B I Mがもたらす建築生産のイノベーション」

- 日時：平成30年11月5日(月) 13:00～16:00 (見学会 16:00-17:00)
- 場所：長崎県庁 1階大会議室
- 定員：150名(先着。参加費無料)
- お申し込み：インターネットにて受け付けております。
- プログラム 1. 長崎県庁とBIM
2. BIM活用による営繕工事の更なる生産性向上に向けて
3. パネルディスカッション BIMがもたらす建築生産プロセスの未来

詳しくは、別紙1をご覧ください

- ※ BIM (Building Information Modeling)：3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ等、建築物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築することをいいます。
- ※ 公共建築の日・公共建築月間・・・公共建築が果たす役割を広く知っていただくため、また、より良い公共建築を目指すため、11月11日を「公共建築の日」、11月を「公共建築月間」と定め、関係機関が各種イベントを実施しています。

取材を希望される報道関係者は、別紙2「取材申込書」を11月2日(金)15時までに、長崎県 高口 (095-827-3367) あてにFAXにて提出願います。

【問合わせ先】九州地方整備局 営繕部 計画課 大槻

TEL 092-471-6331 (内線 5151) FAX 092-476-3484

長崎県 土木部 営繕課 高口 (こうぐち)

TEL 095-824-1111 (内線 3096) FAX 095-827-3367

2018

別紙ー1

11.5 [月]

13:00 ▶ 16:00

フォーラム終了後、17時まで新庁舎の
見学会を予定しています

会場 長崎県庁1階大会議室

定員 150名(先着)

参加費無料

プログラム

1. 長崎県庁とBIM

BIMを使って、上質な空間を
合理的に設計する

(株)日建設計常務執行役員

設計部門副統括 山梨 知彦

B.I.M (ビーアイエム) から

施工BIMへの挑戦

鹿島建設(株) 九州支店

建築部担当部長 大須賀 太一

2. BIM活用による営繕工事の 更なる生産性向上に向けて

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

施設評価室企画専門官 山田 剛

3. パネルディスカッション

BIMがもたらす

建築生産プロセスの未来

-パネリスト-

(株)日建設計 山梨 知彦

鹿島建設(株)建築管理本部

本部次長兼BIM推進室長

矢嶋 和美

グラフィソフト ジャパン(株)

代表取締役社長

ベンツェ・コバーチ

オートデスク(株)

建設ソリューションテクニカルスペシャリスト

森 昌宏

国土交通省

山田 剛

-進行-

九州地方整備局営繕部計画課長

大槻 泰士



公共建築の日・公共建築月間 記念フォーラム

BIMがもたらす 建築生産のイノベーション

建築CPD情報提供制度認定プログラム



16:00 ▶ 17:00

長崎県
新庁舎
見学会

「働き方改革」の加速化が強く求められている今、建築の生産性向上を実現するツールとしてBIMが注目されています。BIMは単独での使用でも効果はありますが、チームで使用したり、組織の枠を超えて連携したりすることでよりいっそうの改善効果が現れます。

このフォーラムでは、BIMを導入して設計・施工した長崎県庁の実例をご説明するとともに、BIMを用いて協同作業をするためのチームづくりや教育、ワークフローの見直しなどについてご紹介し、未来の建築生産体制を語り合います。

■ 講師・パネリスト 略歴

山梨 知彦

(株)日建設計常務執行役員 設計部門副統括

BIMやコンピュータシミュレーションデザインや、都市建築における木材利用を積極的に進めている
代表作に、木材会館(MIPIM ASIA大賞、JIA建築家協会賞)、ホキ美術館(日本建築大賞、BCS賞)、ソニシティ大崎ビル(日本建築学会賞作品賞)など



矢嶋 和美

鹿島建設(株) 建築管理本部 本部長兼BIM推進室長

2016年4月より現職
鹿島のBIMを推進するとともに、bSI戦略諮問理事・bSJ理事委員長として建築設計・施工のBIMの標準化推進を実施している



大須賀 太一

鹿島建設(株) 九州支店 建築部 担当部長

2014年12月より「長崎県庁舎行政棟新築工事」に現場所長として建設に携わり、BIM導入にチャレンジした
2018年3月より現職



ベンツェ・コバーチ

グラフィソフトジャパン(株) 代表取締役社長

グラフィソフトアジア担当VP
ブダペスト工科大学、東京工業大学大学院卒業
2009年よりグラフィソフトジャパン社長、2013年よりアジアのVP
これまでのソフトウェアベンダーではなく、ノウハウも加えた“ナレッジベンダー”としてBIMを推進



森 昌宏

オートデスク(株)技術営業本部

建設ソリューションテクニカルスペシャリスト

BIMソフトウェアのプリセールスエンジニアとして建設業に対する業務改善の提案に従事



山田 剛

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室企画専門官

2016年4月より現職
官庁営繕部の発行するBIMガイドラインや、i-Constructionの建築分野への拡大を担当
過去には九州地方整備局営繕部建築課長を務める



■ 事前質問

<https://goo.gl/AFx7Sp>

パネルディスカッション「BIMがもたらす建築生産プロセスの未来」にて、お聞きになりたい質問を事前に募集いたします。右記のQRコードより、質問内容をお送りください。

質問締切：当日 パネルディスカッション開始時まで。

また時間の関係上、すべてのご質問に回答できないことをご了承ください。



事前質問

■ お申込み

<https://goo.gl/p8tunj4>

インターネットからのみとなります。団体の場合でも、一人ずつお申し込みください。
申込終了後自動返信されるメールが「受講票」となりますので、印刷してセミナー当日にご持参ください。



お申込み

web受付により取得された個人情報、本セミナー実施のための必要書類の作成等に使用しますが、それ以外の目的には使用いたしません。なお、申込受付等をグラフィソフトジャパン株式会社の協力により行っております。

主催：九州地方整備局、長崎県、(一社)公共建築協会

後援：内閣府沖縄総合事務局、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、福岡市、北九州市、熊本市、

(予定) (一社)長崎県建築士会、(一社)長崎県建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会九州支部、九州建設業協会、

(一社)日本電設工業協会九州支部、(一社)日本空調衛生工事業協会九州沖縄支部

特別協力：グラフィソフトジャパン(株)、オートデスク(株)

【取材申込書】

記念フォーラム「B I Mがもたらす建築生産のイノベーション」の
取材を希望される報道機関のみなさまへ

以下の取材申し込み内容を記入のうえ、本紙を下記の担当窓口
宛てに送信ください。

申し込み期限：平成30年11月2日（金）15時まで

《取材申し込み内容》

申 込 日：平成30年 月 日

報道機関名：

取材代表者氏名：

（希望人数 名）

連絡先（TEL）：

【担当窓口】 長崎県土木部営繕課営繕班 こうぐち 高口

T E L：095-894-1111（3096）

F A X：095-827-3367